

高校生のための教職説明会

11月18日（木）の放課後に、県教育委員会教職員課の梅村和由先生、阿木高等学校の小越一寛先生（本校卒業生）、可茂特別支援学校の井上妙望先生（本校卒業生）を講師にお招きし、「高校生のための教職説明会」が開催されました。

まず県教育委員会の梅村先生より、教員は働き方改革が進み残業時間が減っていることや、育児休業などの福利厚生が充実していること、教員採用試験のことなどについて説明をしていただきました。



小越先生、井上先生からは、教員になろうと思ったきっかけや、仕事のやりがいについてお話をいただきました。「授業でいろいろなことを取り入れ挑戦していて、生徒が分かったと言ってくれた時はとても嬉しい。」「持ち上がりで担任をして、生徒の成長を実感できたとき、やりがいを感じた。」など、実感のこもった経験談を語っていただきました。

参加した生徒からも、「教師として大切にしていることは何ですか。」「小学校の教員と中高の教員とで迷っていますが、アドバイスはありますか。」「教員になるのであれば理学部と教育学部どちらがいいですか。」など、たくさんの質問が飛び出し、一つひとつ丁寧にお答えいただきました。



生徒からは、「はやく先生として働きたいと思った。そのために、さらに勉強を頑張りたい。」「卒業生の方が講師だったので、高校時代を自分たちと同じ環境で過ごしたということもあり、とても参考になりました。」「教職員課の方から給料や待遇、人間性が

重視されることなどを伺い、とてもためになりました。」などの感想が聞かれ、有意義な会となりました。

教員を志望している生徒や卒業生が一人でも多く教員になり、地元に戻って下呂市の教育に貢献してくれることを期待しています。